

特別区経験者採用（教養試験・国語対策）

～「あと1点」もぎ取り講義～

公務員試験「社会人採用」専門予備校

Gravity 奥田恭央

0. 試験概要

特別区「経験者採用」の教養試験では、毎年、選択問題の一つとして「国語」から1題が出題されます（近年は教養試験の「No. 36」の問題が「国語」であることが多くなっています）。そして、「国語」においては、基本的には「ことわざ・慣用句」と「四字熟語」のどちらかの出題がほとんどとなっています。以下において、過去の特別区経験者採用試験で出題された「ことわざ・慣用句」と「四字熟語」について一覧表にまとめました。特別区の教養試験は高得点が不要な試験ではありますが、教養試験の「あと1点」の獲得を目指す受験生にとって少しでも役立つことができれば大変嬉しく思います。それでは、私と一緒に「あと1点」をもぎ取っていきましょう！

1. ことわざ・慣用句

語 句	意 味
虻蜂とらず (あぶはちとらず)	2つのものを同時に手に入れようとして、かえって両方とも手に入れることができなくなる事
屋上屋を架す (おくじょうおくをかす)	屋根の上に、もう一つ屋根を設けるように、無駄なことをしていること
可愛い子には旅をさせよ	かわいい子どもほど、甘やかさずにあえて辛い経験をさせることが大切という意味
情けは人の為ならず	人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、やがては自分への良い報いとなって戻ってくるという意味 ※特別区では過去3回出題されている
横槍を入れる (よこやりをいれる)	第三者が横から口をはさんで邪魔すること
白羽の矢が立つ (しらはのやがたつ)	多くの人の中から特別に選ばれること ※「白羽の矢が当たる」は誤用であるので注意したい
合いの手を入れる	他人の言葉や歌などを盛り上げるためにかけ声などを加えること ※「合いの手を打つ」という表現は誤用であるので注意したい

語 句	意 味
気が置けない	相手に対して、遠慮や気兼ねなく、親しく付き合える関係のこと ※特別区では過去2回出題されている
他山の石 (たざんのいし)	他人のよくない言動や行動でも、これを参考にして自分を成長させること ※特別区では過去3回出題されている
胸三寸に納める (むねさんずんにおさめる)	心の中にしまい込んで、顔色や言葉に出さないこと
前門の虎、後門の狼 (ぜんもんのとら、こうもんのおおかみ)	一つの危難や災難から身を守っても、さらにまた別の危難や災難が現れること
横車を押す (よこぐるまをおす)	道理に合わないことを強引に押し通すこと
瓜田に履を入れず (かでんにくつをいれず)	疑いを受けるような、紛らわしい行為は避けたほうがよいこと
味噌をつける	失敗すること。 しくじること。
柳に雪折れ無し (やなぎにゆきおれなし)	柔軟なもののほうが、堅いものよりかえって強く、折れにくいこと
青は藍より出でて藍より青し (あおはあいよりいでてあいよりあおし)	教えを受けた人が教えた人よりも優れた状態になること (弟子が師匠より優れること)
石に漱ぎ流れに枕す (いしにくちすすぎながれにまくらす)	負け惜しみが強く、理屈をつけて言い逃れをすること
船頭多くして船山に上る (せんどうおおくしてふねやまにのぼる)	指図する人が多いため統一がとれず、見当違いのほうに物事が進んでしまうこと
提灯に釣鐘 (ちょうちんにつりがね)	双方が釣り合っておらず、比較にならないこと
猫に鯉節 (ねこにかつおぶし)	油断できないこと。危険であること。
牛耳を執る (ぎゅうじをとる)	集団・党派の中心になって支配すること
市に虎あり (いちにとらあり)	事実でないことも、多数の人が言えば信じられてしまうこと
犬に論語	意味が通じない相手に道理を説明しても無駄であること

語 句	意 味
腹に落ちる	納得すること
青菜に塩 (あおなにしお)	元気をなくし、しょげていること
出藍の誉れ (しゅつらんのほまれ)	弟子が師匠よりも優れていること ※「青は藍より出でて藍より青し」に由来する
立て板に水 (たていたにみず)	よどみなく、すらすらと話すこと
紺屋の白袴 (こうやのしろばかま)	他人のことで忙しくなり、自分自身のことに手が回らなくなっていること ※「こうや」ではなく「こんや」と読んでも問題ない
白眉 (はくび)	多数ある中で最も優れている人やモノのこと
枯れ木も山の賑わい	つまらないものでも、ないよりはましであること
流れに掉さす (ながれにさおさす)	勢いや時流に乗って、物事が順調に進むこと
濡れ手に粟 (ぬれてにあわ)	何の苦労もせずに大きな利益を得ること

2. 四字熟語

語 句	意 味
雲散霧消 (うんさんむしょう)	物事があっさりとなくなってしまうこと
会者定離 (えしゃじょうり)	出会ったものは必ず別れる運命にあること
五里霧中 (ごりむちゅう)	物事の事情がまったくわからず迷ってしまい、どうしてよいか分からなくなってしまうこと ※特別区では過去2回出題されている
我田引水 (がでんいんすい)	自分の都合の良いように言ったり、行動したりすること
呉越同舟 (ごえつどうしゅう)	敵対する者同士が同じ場所にいること。また、仲の良くない者同士が共通の目的のために協力すること
朝三暮四 (ちょうさんぼし)	目先の違いに気をとられて、実際は同じであるのに気がつかないこと ※特別区では過去2回出題されている

語 句	意 味
千載一遇 (せんざいいちぐう)	めったにない素晴らしい機会のこと
容姿端麗 (ようしたんれい)	顔立ちや姿が整っていて美しいこと
用意万端 (よういばんたん)	事前の仕度が完全に終わっていること
順風満帆 (じゅんぷうまんぱん)	物事がすべて順調に思いどおりに運ぶこと
品行方正 (ひんこうほうせい)	行いや態度がきちんとしていて正しいこと
清廉潔白 (せいれんけつぱく)	心や行いが正しく、私欲を図ったり不正をしたりすることがないこと
厚顔無恥 (こうがんむち)	厚かましく恥を知らないこと
一騎当千 (いっきとうせん)	一騎で千人を相手にできるほど強いこと。人並み以上の技術や能力があること
一刻千金 (いっこくせんきん)	ほんのわずかな時間が千金にも値すること（大切な時や楽しい時が過ぎやすいことを惜しむ表現）
一網打尽 (いちもうだじん)	一度に悪人など一味の全ての者を捕らえること
一陽来復 (いちようらいふく)	冬が終わり春が来ること。悪い状況から好転していくこと
画竜点睛 (がりょうてんせい)	最後の大事な仕上げや物事の肝心なところ ※「がりゅう」ではなく「がりょう」が正しい ※「睛」ではなく「晴」が正しい ※「画竜点睛を欠く」で「全体は優れているが、仕上げや重要箇所に抜けがあって完成度が低い状態」を指す
一瀉千里 (いっしゃせんり)	物事が速くはかどること
上意下達 (じょういかたつ)	組織において、上層部の命令や指示を部下や下位の者に伝えること
七転八倒 (しちてんぱっとう)	もがき苦しみ、転げ回ること
百家争鳴 (ひゃっかそうめい)	多くの学者や文化人等が、意見を自由に発表し論争すること
易姓革命 (えきせいかくめい)	王朝が交代すること
悪口雑言 (あっこうぞうごん)	口汚くさんざん悪口を言うこと
万世不易 (ばんせいふえき)	永遠に変わらないこと

語 句	意 味
山紫水明 (さんしすいめい)	自然の景色が清らかで美しいこと
大山鳴動 (たいざんめいどう)	事前の騒ぎばかりが大きく、実際の結果が小さいこと
知行合一 (ちこうごういつ)	知ることと実行することは二つに分けられないこと（知識と実践は一体であるという考え方）
不易流行 (ふえきりゅうこう)	変わらないものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れること
百戦錬磨 (ひゃくせんれんま)	数多くの実戦によって、武芸の技量や精神が鍛え抜かれていること。転じて、武芸に限らず様々な経験を積み、心身ともに鍛え上げられていること
快刀乱麻 (かいとうらんま)	こじれた問題を巧みに処理し解決すること
金科玉条 (きんかぎよくじょう)	最も大切なルール。絶対的なよりどころとなるもの
不立文字 (ふりゅうもんじ)	文字や言葉では伝えることができず、心で伝わるものであること
花鳥風月 (かちょうふうげつ)	自然の美しさや風情を総括的に表現する言葉
旧態依然 (きゅうたいいぜん)	昔のままで進歩や改善がない様子のこと
泰然自若 (たいぜんじじゃく)	落ち着いていて、些細な物事には動じないこと
後生大事 (ごしょうだいじ)	一生懸命に物事に取り組むことや、物をととても大切に扱うこと
不惜身命 (ふしゃくしんみょう)	仏道修行のためには死をもいとわぬ決意のこと。転じて、目標に向けて自分の身を顧みず熱心に取り組むこと

3. その他（言葉の意味）

語 句	意 味
未曾有 (みぞう)	これまで一度たりとも起きなかったような、非常に珍しい事態のこと
的を射る (まとをいる)	物事のコアや要点を的確に捉えること
身につまされる	他人の不幸などが自分の立場や境遇に重なって心が痛むこと
左うちわ	余裕のある暮らしぶりのこと
琴線に触れる	素晴らしいものに触れて、心が深く動かされること

4. おわりに

以上の内容を読んで「ボリュームが多すぎる」と思ったかもしれません。しかし、例えば、世界史や日本史、化学や生物などの他の科目のボリュームと比較すると、相対的には「国語」のボリュームは少ないです。このため、試験対策に多くの時間を確保できない場合や、試験直前で少しでも教養試験対策に取り組みたい場合などには、ぜひこちらの資料を活用し、「国語」分野での1点を狙っていきましょう(*^*)